

〔県指定・無形〕
深山和紙

7

高 価な商品作物であった紅花（紅餅）は、厚紙で作った「花袋」に入れられ、さらにムシロで包み出荷された。往時、白鷹町深山地区で作られた和紙は地元産の紅花の花袋として使用された。その製作技術は今も当地に引き継がれている。

白鷹町



大石田河岸絵図

〔町指定・歴史資料〕



8

江 戸時代、紅花交易などで最上川舟運最大の河岸として賑わった様子を伝えるもの。護岸築堤がなされ、多くの物資が往来できるように最上川の流れて沿って東西に貫いて大通りが設けられ、整備された町並みの様子がわかる。

大石田町



大石田河岸の景観

9

紅 花は川の難所を避けて生産地から大石田までは陸送され、大石田河岸から舟積みされて上方へと送られた。最上川から店棚を通って表通りまで通じる路地「ろうず」が残る家屋などから往時の河岸の様子をうかがい知ることができる。

大石田町

**上方由来コレクション
紅花商人 山長谷川家の**

江 戸時代、紅花商人（豪商）として活躍した⑩長谷川家が贅を尽くして収集した上方由来の文物。現在、(公財)山形美術館で公開され、往時の紅花交易の隆盛を今に伝える貴重なコレクションである。

紙本著色紅花図 横山華山筆 六曲屏風

〔県指定一絵画〕 ⑩長谷川コレクション・(公財)山形美術館所蔵

江戸時代の紅花の栽培から収穫、紅餅に加工する作業や上方へ運び出す様子が見られる。精緻な描写が往時の紅花生産の賑わいを今に伝える。(写真左上)

紙本淡彩奥の細道図 与謝蕪村筆 六曲屏風

〔国重文一絵画〕 ⑩長谷川コレクション・(公財)山形美術館所蔵

松尾芭蕉『奥の細道』全文が墨書され、「山刀伐峠越え（尾花沢市）」など9場面の画が配置された構成は、芭蕉の紀行に即した情景と人物の心のあり様を伝える。屏風仕立てによって、画と文章の調和を一望できる。(写真左下)

出羽三山巡礼句 芭蕉筆

〔県指定一書跡〕 ⑩長谷川コレクション・(公財)山形美術館所蔵

松尾芭蕉は奥の細道の道中、山寺から北上して大石田の河岸より最上川舟運で出羽三山に向かった。その感動を3つの句に詠んだもの。(写真右)

山形市



29